

蘇る！

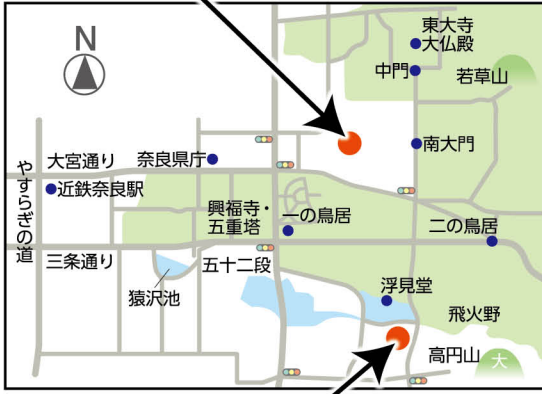
2020年  
春

名勝地・

奈良公園

奈良公園の「吉城園周辺地区」と「高畑町裁判所跡地」では、2020年のまちびらきを目指して取り組みを進めています。両地区で整備する宿泊施設は、新国立競技場を設計する著名な建築家隈研吾さん(東京大学教授)が設計します。

吉城園周辺地区



高畑町裁判所跡地



既存土塀を残した  
沿道景観

世尊院での文化発信



整備後のイメージ

平成26年当時の事業地(赤枠)



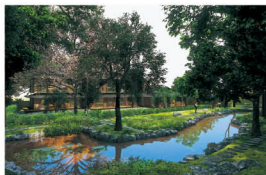
江戸末期から昭和初期の近代建築物と、庭園が織りなす空間美を保存します。

吉城園周辺地区

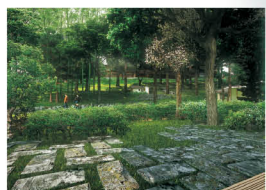


建築家 隈研吾さん  
(東京大学教授)

世界の人々が日本に集う2020年東京オリンピック・パラリンピックのタッピングで、奈良公園に2箇所、新しい宿泊施設ができます。知事公舎などの建物や庭、奈良公園の歴史も残しながら「古さの中に新しさを見つける」をテーマに、世界的に例のない文化的に価値の高い宿泊施設にしたいと思います。



庭園と調和した  
交流・飲食施設



庭園と調和した  
宿泊施設



整備後のイメージ

昭和50年当時の事業地(赤枠)



出典：国土地理院より作成

日本を代表する庭園文化・茶の湯文化が感じられる場を再興します。

高畑町裁判所跡地